

新潟東スマートIC

開通後の交通状況及び整備効果についてお知らせします

開通後の
交通状況

- 開通1年後の1日あたりの利用交通量は、平均約1,590台/日
- 開通から1年間の累計交通量は、約59万台と順調な利用状況

1 高速道路へのアクセス向上

- 高速ICからの15分圏域が拡大し、カバー人口が約3千人増加

2 渋滞緩和効果

- 竹尾IC周辺での渋滞緩和効果は確認できなかった ⇒ 今後も継続して分析

3 救急救命活動の支援

- 中野山地区から市民病院への搬送時間が最大で約7分短縮
- 緊急性の高い事案でスマートICを活用した搬送事例を確認

4 企業活動の効率化

- 周辺企業の利用が確認され、物流の効率化や運転手の負担軽減など企業活動を支援。合わせて、IC周辺での新たな物流拠点の整備も進む

5 周辺開発計画の支援

- 土地区画整理事業が進み、沿線地域の開発を誘発
- 沿線地域の人口や世帯数が増加するなど、地域活性化を支援

6 周辺住民の利便性向上

- 周辺住民の通勤時や休日の外出時での利用が進む